

新国道街路事業に伴う発掘調査について

1 経緯・経過

令和3年度当初より道路建設課（以下「事業課」という。）から相談があり、新国道街路事業を進めるにあたり現地における遺跡発掘調査を依頼された（総面積約 8500 m²）。これを受けて社会教育課では事業課と協力し、試掘確認調査、遺跡範囲の変更増補、調査計画及び予算要求のための資料作成、人員要望などを行った。その結果、令和4年度分として542.5 m²を概ね8月中旬～1月末までの日程で調査することとなった。なお、体制確保については、正規職員（学芸員（考古学））を令和4年10月1日付け採用で若干名を募集している。

2 調査の概要

(1) 調査の場所（第1・2・3図）

茅ヶ崎市本村四丁目 1488-1 番地先～1489-3 地先

(2) 調査面積

542.5 m²（第4図）

(3) 遺跡の名称・時代

居村B（茅ヶ崎市No.199）遺跡

（縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世、近世）

(4) 調査予定期間

令和4年8月22日～令和5年1月31日

(5) 調査体制

調査主体：茅ヶ崎市教育委員会

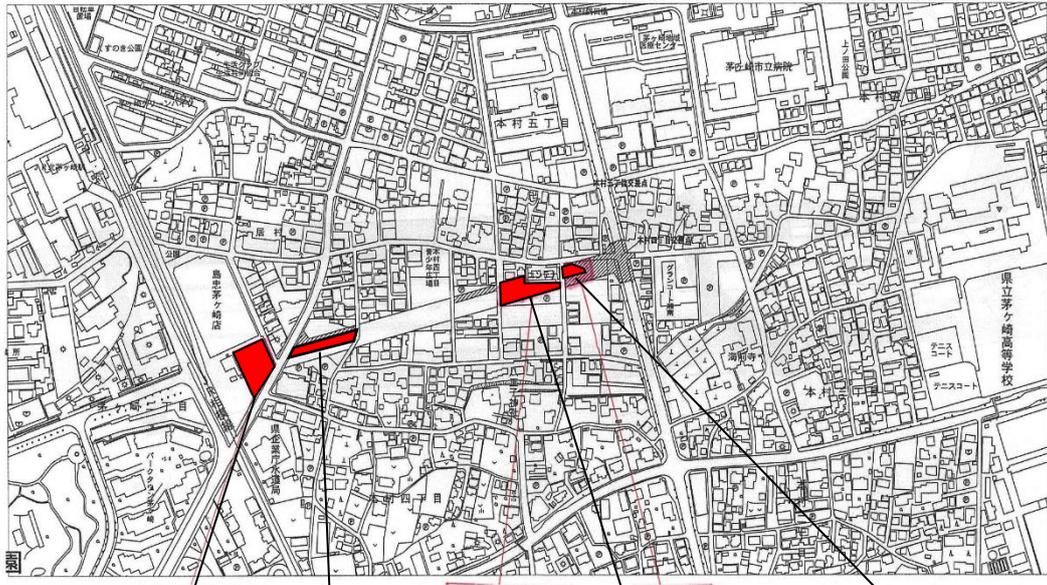
調査支援：未定



第1図 遺跡位置図

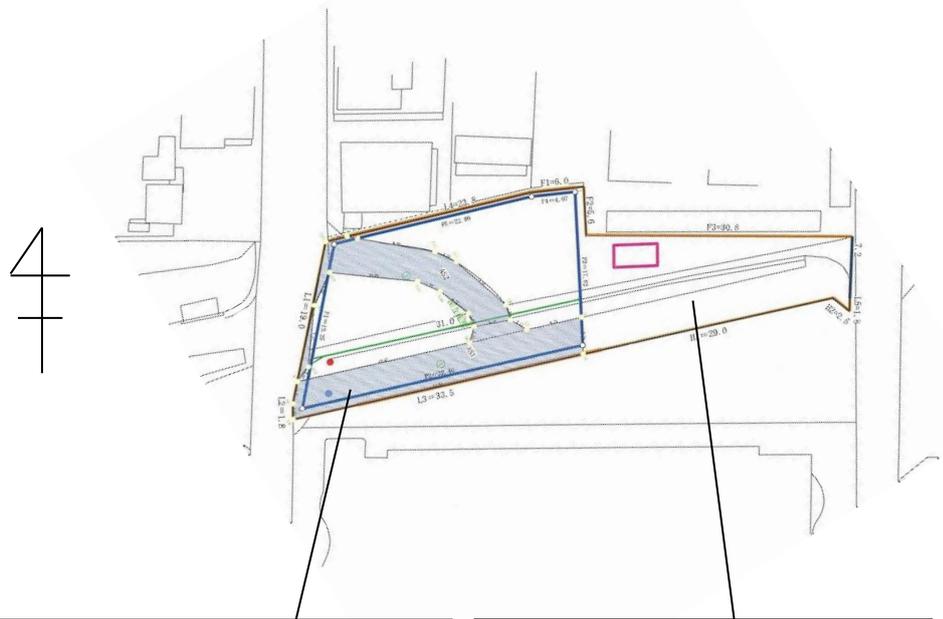


第2図 調査地点及び遺跡分布図



<p>業務範囲 2 ③: V工区(残 土仮置き場 1,460m²)</p>	<p>業務範囲 2 ②: IV工区 (駐車場)</p>	<p>業務範囲 1: Ib工区(調 査区 542.5m²) 業務範囲 2①: Ia工区(作 業ヤード)</p>	<p>業務範囲 3: 調 査事務所用地</p>
--	-------------------------------------	--	-----------------------------

第3図 業務範囲図



<p>業務範囲 1 : Ib工区(調査区) 542.5m²</p>	<p>業務範囲 2① : Ia工区(作業ヤード)</p>
--	----------------------------------

第4図 調査区範囲図